

町田市長 稲垣 康治 様

「2026 年度 高齢者全都共同行動」町田市への再要請

東京高齢者共同行動 町田連絡会

町田市へ高齢者の医療や介護等の要請書を提出し、8 月 24 日付で回答を頂き感謝しております。
重要項目について再要請いたします。

1.市は「生活保護のしおり」などを 6 月より HP で公開されましたが Hp にたどりつけない人もいます。厚労省は、「生活保護のしおり」による周知を重視しています。市民が、気軽に手に取れるよう、窓口や待合スペースに置いて下さい。相談前に内容を確認でき、必要な人が制度につながりやすくなることは、とても大切です。「生活保護申請は権利です」のポスター作成やチラシを作成し、周知をして下さい。
また、「生活困窮者自立相談支援事業」もチラシ等で、積極的に周知して下さい。

2.老老介護殺人事件と対策について

市では、75 歳以上の世帯に民生委員が年 1 回は、訪問していましたが、今年度から、「75 歳以上の単身世帯の方で介護保険サービス未利用の方」に変更しました。市内で 2 件もの老老介護殺人事件が起きました。地域等や民間業者による見守りも大事ですが、「65 歳以上の単身世帯や後期高齢者世帯に、高齢者支援センターや民生委員等が年 1 回以上の訪問」をして下さい。高齢者支援センターの役割や場所を知らない方も多くいます。市民に周知するためにも、ぜひ訪問をお願いします。

3. 市は下水道使用料を来年 1 月分から改定しますが、単身世帯だと約 75%、3, 4 人家族だと約 35%値上げとなります。上水道が東京都、下水道が町田市、都の上水道料金は据え置きです。他市も値上げがされていますが、町田市ほどの値上げ幅ではありません。値上げ幅について、再検討して下さい。

4. 野津田公園スケートパークの市の対応について

稲垣市長は、(仮称) 国際工芸美術館建設について市民参加型のワークショップや意見募集の機会を設け、再検討することを表明しました。一方「野津田公園スケートパークの予算の執行を一時止めて市民と話し合う場所を求める」請願が、3 月議会に続き 6 月議会の委員会で継続審査になったのに、6/11 に市は入札しています。市民の請願を軽視する市の対応は問題です。利用者にとって安全で魅力ある施設とするため、建設場所の再検討を求めます。